

2008.6.15

東北大学 三辻和弥，迫田丈志  
松川和人，中神宏昌

## 1. 調査の概要

2008年6月14日午前8時43分に、岩手県内陸部を震源とする地震(M=7.2)が発生し、岩手県奥州市および宮城県栗原市で震度6強の揺れが観測された。筆者らは、6月14日の調査に引き続き、大きな震度が観測された自治体の震度計、K-Net 観測点周辺の被害調査を行った。

## 2. 調査行程

6月15日(日)

12:00 頃 東北大学工学部出発

東北自動車道仙台宮城 IC 古川 IC

13:00 頃 大崎市古川着 (K-Net 古川，古川三日町観測点，大崎市役所)

16:40 頃 栗原市鶯沢総合支所

18:00 頃 栗原市栗駒

## 3. 各調査地点の被害状況

(1) 大崎市役所周辺 (古川三日町公園観測点，震度6弱)(写真1)

大崎市役所の南に位置する古川三日町公園に気象庁観測点がある。周囲は2階建て木造店舗や住宅が多い地域であるが、外壁モルタルのひび割れ程度の軽微な被害である。(写真2)



写真1



写真2

近くの鉄骨造の3階建て店舗に、外壁のひび割れや剥落が見られた。(写真3,4,5)



写真3



写真4



写真5

(2) K-Net 古川 (計測震度 5.5, 古川消防署) (写真6)

古川消防署の建物には、外壁の軽微なひび割れ以外に目立つ被害は見られなかった。  
近くの古い木造民家1棟の塗り壁の剥落が見られた(写真7)が、周囲に多数ある住宅や  
店舗などでは、他の被害は見られなかった。



写真6



写真7

ブロック塀の傾斜が一箇所見られた。(写真8)



写真8

(3) 栗原市鶯沢総合支所

鶯沢総合支所の外部に震度計が設置されている。(写真9)

構造被害は確認されなかったが、防煙ガラスの破損(写真10)や外構と建物との間の損傷(写真11)があった。周辺道路のアスファルトには亀裂が多く生じていた。



写真9



写真10



写真11

#### (4) 栗原市栗駒

栗駒から築館へ向かう地方主要道 42 号線において瓦の落下が見られた。(写真 12)

用水路にかかる橋と道路に 50mm 程度の段差が生じていた。(写真 13)

地方主要道 17 号沿いに瓦のずれや大谷石ブロックの倒壊が見られた。



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15

#### 4. まとめ

昨日に引き続き今回調査した地点, および, その移動中の道路周辺でも, 木造住宅の屋根瓦のずれや, モルタル外壁のひび割れ, S 造の外壁の落下, 非構造壁のひび割れ, などの被害がいくつか見られたが, それ以外に被害を受けた建物はほとんど見られなかった。